

# 大阪府森林所有者通信

2005.4 Vol.8



緑の担い手・研修のようす

## Index

組合施設にペレットストーブ10台設置

緑の担い手育成対策事業／1年間の研修を無事終了

支店のトピックニュース

生駒山系に大きな木製構造物出現!!

職員紹介

巨木探訪／野間の大ケヤキ

“がんばっています” 府内産木材の住宅づくり

観光センターだより

Information／木材市況・林政動向

公告／総代選挙について

## 組合施設にペレットストーブ10台設置

平成14年より森林組合が生産を開始した木質ペレットを燃料として利用する《ペレットストーブ》は、エコロジーブームの追い風もあり、今年に入ってから多くの問い合わせをいただき、一般のご家庭に設置するケースも増えてきました。

この機会に、より一層、木質ペレットとペレットストーブの理解を深めてもらおうと、今年度の林野庁補助事業により組合施設を対象に10台のペレットストーブを設置しました。組合の施設は木造が多く、シンプルなペレットストーブのスタイルと、ぴったりマッチしています。

燃焼後の灰の掃除が必要になったり、燃料である木質ペレットを購入できるところが少なかったりと、石油やガスを燃料とするストーブと比べ多少の手間がかかります。

しかし実際、ペレットストーブを購入されたお客様からは、「木質ペレットが燃焼する炎の揺らぎを見ていると、他の暖房器具では得られない独特の暖かさがある」と好評を得ています。

組合では、今までカナダ製のペレットストーブのみを扱っていましたが、今年から日本製のペレットストーブの取り扱いも開始しました。

日本製のペレットストーブは、デザインでは海外のものに及びませんが、ストーブの上でお湯が沸かせる機能がついており、熱を余すことなく利用できます。



設置したストーブ(南河内支店)



木質ペレットの認定書

### 設置した施設名

施設名	設置台数	設置位置
豊能支店	1台	ロビー
森林観光センター	1台	槻の郷荘休憩コーナー
南河内支店	2台	林業総合センターホール
ラ・フォレスト	2台	1F展示コーナー
木材センター	2台	ホール及び会議室
ウッドベース	2台	打合せコーナー・会議室

木質ペレットについても、本年度、大阪府のリサイクル製品の認定を受け、いっそうの普及を図るため、来シーズンより販売拠点を増やしていく予定です。

ペレットストーブのある身近なエコロジー生活。

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

## 緑の担い手育成対策事業 —1年間の研修を無事終了—

昨年度より始まりました「緑の担い手育成対策事業」は、今年度も10名の研修生を迎え、平成16年6月より事業を開始しました。

同事業は、森林作業の基本と高度な知識や技能をOJT（職場内研修）で学ぶもので、河内長野市有林と各地区の森林をフィールドに実施しました。

具体的な研修内容としては、林業士としての基本動作や造林・下刈り・枝打ち・間伐といった保育作業のほか、より実践的な施業として風倒木の処理作業や高性能林業機械を用いての木材搬出、地拵えや植え付けと広範囲に

わたりました。

併せて、林業の機械化を進める上で必要な林道や作業道の修理なども林内に機械を持ち込んで作業を実施しました。



施業前のミーティング

また荒天時に実施したロープワークや刃物類の目立てなど、1年間という限られた時間を有効に活用し、林業士として必要な知識・経験を学んでもらいました。

研修生は、まったくの未経験者ではありませんでしたが、ただ木を切るだけでなく、足元が不安定な場所で身にかかる危険をいかに回避するかなど、改めて基本を学ぼうという姿勢で指導員の指示を真剣に聞いていました。

一人の脱落者もなく1年間の研修を終了した研修生は、今後、大阪の森林・林業を担う一人の林業士として活躍してくれることと期待しています。



高性能林業機械の研修



測量の研修

# 支店トピックニュース

豊能  
支店

## 巨大台風23号(TOKAGE)



台風被害田尻土場

昨年の10月20日に日本を襲った巨大台風23号を覚えておられますでしょうか？豪雨・強風により西日本各地に大きな被害をもたらしました。今もなお、あちこちで復旧工事が進められています。

豊能支店管内でも豪雨による土砂崩れや強風による倒木などの被害が相次ぎました。特に強風は近年経験したことがない非常に激しいものであり、支店事務所や事業所においても倒木の被害を受けました。

当支店では、被害にあわれた組合員様からの依頼を受け、クレーン等を使った倒木・危険木の除去など、約50件の作業を行いました。倒木・危険木は放置しておく二次災害（家屋倒壊・交通網遮断など）を引き起こす為、最優先作業と位置づけ総力を挙げて取り組みました。

被害を受けられた組合員様には、心からお見舞い申し上げます。

三島  
支店

## 第1期“市民林業士”の誕生

技術を身につけた市民が森林整備を応援!!

高槻市との共催により、三島支店において実施していました市民林業士講座が10月の講義をもって修了。第1期の市民林業士25名が誕生しました。

講座では“安全”で“作業の目的と方法”を理解したうえで、丁寧な“技術”をマスターするというところに重点を置きました。

まだまだ発展途上であり、手作業で、かつ道具も限られていますので、大径木やタケの伐採など現状では、難しい作業もありますが、そこはチームワークを発揮することでカバー。健全な森林のための整備と伐採材の有効活用をポリシーに、今後、NPO法人として、月2回程度、高槻エリアで活動します。

森林を所有されている方を微力ながら応援したいという市民林業士、ひとり一人の思いが実現すれば地域の森林整備につながっていきます。この新しいスタイルの森林整備を森林組合としても支援していきたいと考えています。

すでに賛同をいただいた森林所有者の方から施業の委託を受けており、今後はこのような実績を着実に積んでいくことが必要です。

人工林・自然林を問わず、市民林業士に森の手入れをご依頼いただきますよう、お願いいたします。



市民林業士の活動風景

南河内  
支店

## 森林不法侵入・伐採者に注意

森林への不法侵入者が、森林内の樹木を違法伐採した上、その木で森林内に建物を立てて住み着くという事件が、2件発生しています。

この事件は河内長野市滝畑地区内のスギ・ヒノキ林で発生しており、うち1件は50本にも上るヒノキが伐採され60万円相当の被害が出ています。残る一件は、作業中の森林組合職員が早期に発見したため最小限の被害で済みました。

幸い、犯人は警察により逮捕されましたが、今後も同様の事件が起こらないとも限りません。

ただ、このような事件を防ぐことは難しく、ご自身で年に数回、所有森林の見回りを実施するなど、自己防衛するしかありません。

年に数回の森林見回りが難しい方には、森林組合への森林管理をお任せいただくという方法もあります。

せっかく育てた木を無残に伐採される前に、対策を講じていただくことをお勧めします。



不法伐採の現場

泉州  
支店

## パンダのご馳走 「竹の葉」を提供します

テレビでも取り上げられて、ご覧になった組合員の方もおられると思いますが、当組合で、南紀白浜アドベンチャーワールドのパンダの餌を提供することになりました。

同所のパンダの餌には、これまで地元の竹の葉を与えていましたが、昨年の台風により塩害・風害が発生し、竹の葉の確保が困難になっていました。

そんな中、組合が岸和田市より受託して実施している神於山の竹林整備で発生する竹の枝葉を提供しては？と、組合の吉川監事さんに仲を取り持っていただきました。

パンダって、気に入らない竹の葉は食べないグルメだそうです。神於山の竹の葉は、お気に入りだそうです。



アドベンチャーワールドのパンダ



# 生駒山系に大きな木製構造物出現!!

——— 府内産間伐材を使った木製導流堤 ———



導流堤(写真をコンピュータでつなげています)

みなさん、この写真、何かわかりますか？

これは導流堤といって、土石流や土砂崩れが起きた際、その流れと勢いを遮り、和らげることで下流部への被害を食い止めるものなのです。

もともと無機質なコンクリートのみで造られていた導流堤ですが、大東市野崎地区に設置されたものは、景観にも配慮し、木材とコンクリートのハイブリット構造になっています。その規模は木造部分22.3mを含む全長46m、高さ4.5mという巨大なものです。

この導流堤には直径20cm以上の間伐材をはじめ、普通の家に換算すると5~6棟分にもあたる、なんと120m<sup>3</sup>もの木材を使用しています。

その内部は、流れてくる土砂を遮るために、木材を櫓状にくみ上げ、とても強固なつくりになっています。

災害を食い止める施設ですので、あまり役に立ってもらおうと困りますが、いざというとき街に住む人たちを守るものとして、また多くの間伐材を使用することで森林の育成にも役立つという優れた構造物です。

## 職員紹介



前号から始めました職員紹介コーナーですが、今回は三島支店の田中一嘉支店長をご紹介します。

地域の北半分は森林という広大な高槻の森林を守り育ててきたのが、地域の組合員のみなさんと高槻市森林組合でした。

田中支店長は、合併に伴い、高槻市森林組合から三島支店へと組織が変更され、高槻市、茨木市、島本町を含む三島地域だけでなく、生駒山系までを管轄する支店の長として、多忙な日々を送っています。

入組以来、20余年。その間に培った知識と技能は、組合職員の中でもトップクラス。特に工事の見積関係は、他の支店から依頼されることもしばしば。

森林リサイクル事業など、新しい事業を抱える支店を統率する田中支店長は、次代の森林組合を担う一人であることは間違いありません。

趣味は溪流釣りとテニスですが、多忙を極めている昨今では、ゆっくり釣り糸を垂れたり、テニスボールを追いかけることができないようです。



多忙な日々を送る田中支店長

## 巨木探訪

### 野間の大ケヤキ

大阪北部を代表する山の一つ、妙見山を仰ぎ見る能勢町野間稲地地区にひときわ目を引く巨木がそびえています。

「野間の大ケヤキ」。国の天然記念物に指定され、全国的にも有名な、このケヤキは高さ30m、目通り幹周約14m、枝張東西約42m、南北約38m、樹齢は1,000年以上と推定されています。

もとは「蟻無宮(ありなしのみや)神社」(明治45年に野間神社に合祀)のご神木で、古くは、このケヤキの春の芽吹き具合で、その年の作物の豊凶を占っていたと伝えられており、このケヤキが当地の人の生活と深く結びついていたことがわかります。

一時、樹勢が弱まりましたが、手厚い治療を受けた結果、現在では往時の姿を再び見ることができます。

世紀を超越し、人々の暮らしにとけこんでいたケヤキ。これからも、めまぐるしく変遷する人々の暮らしを優しく見守り続けることでしょう。



樹齢1000年を誇る大ケヤキ





## “がんばっています” 府内産木材の住宅づくり

組合の建築事業は、事業開始から1年余りが過ぎ、くちコミやイベントを通じて少しずつではありますが、認知度が高まってきていることが、営業活動をしていても感じることができます。

最近では住宅の新築もさることながらリフォームの問い合わせが増えてきています。リフォームといっても、家の内外の改装から、床板の張替え、棚の設置まで、大小さまざまです。森林組合では、工事内容の大小にかかわらず、丁寧な施工を心掛けています。

現在、府内産木材を使用した住宅の工事を河内長野市内で着手しており、4月初旬(予定)には上棟を迎えます。それに併せてお施主様のご好意で、4月16日・17日に見学会を開催するはこびとなりました。

ぜひ、この機会に森林組合の住宅づくりをご覧ください。右記、連絡先までご連絡をいただければ、詳しい場所などを記載した資料をお送りします。

また工事の進捗度合いに応じて、随時、住宅のご案内もいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

府内産木材を使用した住宅・建物を1棟でも増やし、府内産木材の流通に努めてまいりますので、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

### ■府内産木材を使用した内装の一例



《見学会お問い合わせ先》大阪府森林組合／建築事業部  
フリーダイヤル: **0120-630-854**

## 観光センターだより

高槻森林観光センターでは、寒い冬からようやく抜け出て、そろそろ桜が見ごろを迎えています。

桜といえば、木の下に集い、お弁当や宴会を開くというのが一般的ですが、当センターの桜の郷荘では園内に数10本ある桜が眼下に広がります。いつもと違った位置から桜を見ながら個室でゆっくりお食事…この季節の名物になっています。

春の息吹を感じるようになるにつれ、冬の間は聞かれなかった遊具で遊ぶお子さんの歓声が聞こえ始めると、当センターで一番にぎやかなシーズンの幕が開きます。

それに向けてパーベキューハウス木もれびでは、昨年からはラインナップに加わったジンギスカンやお得なパーベキューメニュー、桜の郷荘の食堂では温・冷お好みに合った評判の手打ちうどんはもちろんのこと、名物の地鶏を気軽に味わっていただける「地鶏すき焼き定食」など、若い方からお年を召した方まで、ご満足いただけるメニューをご用意して、皆様のお越しを



昨年の桜の様子



お待ちしております。

また桜の郷荘では、春のお料理と温泉入浴、JR高槻駅までの送迎をパックにしたお得なコースをご用意いたしております。〈春ご膳3,200円(税込み・予約要)〉

おいしいお料理と温泉で、日頃の疲れを癒しに、ぜひお越しください。

今回、組合員様へのサービスとして、左下の引換券をご持参いただくと…

〈春ご膳〉コース3,200円のところで、コーヒー1杯のサービス付で3,000円とさせていただきます。

ご利用期間は平成17年4月28日までとなっておりますので、お早くご予約ください。



春ご膳のお料理

### 春ご膳の内容

- ・薄切り牛肉と新鮮野菜のサラダ
- ・春の山菜天ぷら
- ・生湯葉のしゃぶしゃぶ
- ・煮物、茶碗蒸し、付だし、ご飯 他

引換券



## 木材市況 平成17年冬期

国産材市況は、依然として低迷期が続いているものの、良材は比較的、堅調な動きを示しています。

当センターでも、ヒノキ良質材については買気が強く、順調に販売を行っております。

反面、ヒノキ一等材については、昨年、中国地方を襲った台風23号による風害木が多量に発生、その風害木が関西から関東という広い範囲の製品市場に大量に出回っている状況で、単価が下落しています。

このような厳しい状況ではありますが、少しでも良質な大阪府内産木材の普及・流通に努めてまいりますので、皆様からの出材、買入れのご協力をお願いいたします。

樹種	取扱量(m <sup>3</sup> )	平均単価(円/m <sup>3</sup> )
スギ(主伐)	313.220	14,368
スギ(間伐)	48.505	8,881
ヒノキ(主伐)	547.838	50,579
ヒノキ(間伐)	141.653	12,067
マツ・広葉樹	29.979	57,774

## 公告

当組合総代理の任期が本年4月末で満了します。つきましては下記のとおり、総代選挙を実施いたしますので、お知らせします。

### 総代選挙について

組合員各位  
平成17年4月15日  
大阪府森林組合  
総代選挙管理者 氏原 修

大阪府森林組合総代選挙規程に基づき総代選挙の実施を公告します。

#### 1. 投票日時

平成17年4月25日 午前9時より午後5時まで

#### 2. 投票所及び各選挙区の選挙する総代数

(下記の表をご参照ください)

なお選挙区ごとに立候補または推薦者が定数内の場合、投票は実施しません。

また、投票を行う場合は、別途お知らせ申し上げます。

#### 3. 立候補・推薦の締め切り

平成17年4月22日 午後5時まで

詳しくは各支店までお問い合わせください

選挙区及び投票所		
	投票所	総代数
豊能地区	豊能支店	67人
三島地区	三島支店	56人
南河内地区	南河内支店	72人
泉州地区	泉州支店	55人
計		250人

## 林政動向

### 林木育種センターが無花粉スギ「爽春」開発、都府県に配布へ

2005.1.26

独立行政法人林木育種センターは25日、花粉症対策として遺伝的に花粉が全く生産されないスギを開発したと発表しました。無花粉スギ「爽春(そうしゅん)」と名付け、品種登録を出願。都府県からの要請に応じて穂木(クローン)を供給していく方針です。

### 森林組合法改正へ、員外利用を緩和、准組合員拡大など

2005.1.7

林野庁は、森林組合法の一部改正法案を国会に提出しました。森林整備の中核的な担い手となる森林組合の経営基盤強化などが目的。森林組合の員外利用に関する制限を緩和したり、関係諸団体との連携を強化するため、准組合員の資格要件を拡大するとともに、商法改正に伴う監査体制の充実も図られる見通しです。

### 来年度林野一般会計予算が決定

2004.12.27

来年度(平成17年度)政府予算案が24日に閣議決定されました。林野庁一般会計予算は、折衝の結果、公共・非公共をあわせて4,262億8,700万円、対前年度比97.2%で決着しました。目玉の「間伐等推進3カ年対策」は、対象年齢の引き上げなど事業内容を拡充、3カ年で90万haの間伐実施を目指します。

## 編集後記

スギの花粉症になって、早10年あまり。本来なら春の訪れを心待ちにするはずの、この季節もスギの花粉症の人間にとっては憂鬱です。しかも今年の花の飛散量は、例年になく多いとのこと。目のかゆみと止まらない鼻水。スギが悪いわけではないのですが…。スギの花粉症の方、心よりお見舞い申し上げます。

## 大阪しんりんくみあい通信

年2回発行 編集/大阪府森林組合本店 発行人/氏原 修 〒540-0007 大阪市中央区馬場町3番35号 大阪府森林組合 TEL. 06-4792-4305 e-mail: shinrin@rapid.ocn.ne.jp